

子どもが、子ども同士の対話により学びを深めるには、子ども同士の対等で良好な関係が不可欠であり、それを学びの土台として強固なものにしていく必要がある。一人一人を温かく受け入れる雰囲気、安心感・所属感のある学校、学級を、本校の教育活動全体を通して創り上げていく。

また、自分の力で学び進める力を培うとともに、学び合いによる喜びと新たな価値を共有させていきたい。学ぶ楽しさ、学び合う楽しさを味わわせ、子ども同士がそれぞれのよさを認め理解し、互いによい影響を与える姿を目指し、今年度の重点として取り組んでいく。

4 育てたい子どもの姿

- ◎主体的に学び続ける子
- ◎ひと・もの・こころを大切にする子
- ◎なりたい自分を思い描きながら努力する子

5 目指す教師の姿

- 子どもとともに学び続ける教師
- 子どもや保護者に信頼される教師
- 協働性、同僚性をもった教師

5 経営の基本方針

- (1) 子ども一人一人が「西小の宝」であるという認識のもと、組織的に教育活動を推進する。
- (2) 主体的な学び、協働する活動を推進し、生きる力を育成する。
- (3) 特別支援教育の視点を持ち、生徒指導と特別支援教育を推進する。
- (4) 保護者、地域に信頼され、つながりをもとに協働を推進する。
- (5) 他校種（幼保、東小、一中、二中）との連携及び小中一貫教育に向けた取組を推進する。

6 取組の具体的事項

組織的で実効性のある取組に向けて

- ① 確実な「情報共有」 ← 「報告」「連絡」「相談」「確認」の徹底
- ② 参画意識をもって「協働」
- ③ いつでも誰にでもわかる「見える化」

(1) 学びの土台を固める

【具体的な取組】

- ① 基礎基本の定着
- ② 学習規律の定着→「西小そろえる活動」の徹底
- ③ 学習過程にそった授業づくり
- ④ ユニバーサルデザインの視点を生かした教室環境の整備
- ⑤ ICT、タブレット端末の日常的な活用
- ⑥ 校舎内外の安全点検、備品の管理
- ⑦ 感染症対策の継続